# series

LUK TX A

## 汎用ACインダクションモータ用 1軸1ポイント位置決めカウンタ。

MUTOH独自のソフトウェアにより、クローズドループ できめ細やかなコントロールを実現しています。

#### 操作性は抜群。

シンプルな操作性を追求。目標値データは16ポイント を登録でき、多彩な入出力機能で高度な機能を簡 単に駆使できます。

#### 高精度な位置決め精度

インバータ等を利用し、高速/中速/低速の3段設定、 オーバーラン量の自動読取り、補正が可能で、高精 度な位置決めを実現。位置決めOK範囲も設定可能 で、範囲外に停止した場合はリトライ動作で補正機能 が働き、範囲内に入るようにコントロールします。

#### 設計を楽にするCPUを搭載。

機械装置とセンサーの条件設定はパラメータの入力 だけ。たとえばネジピッチとエンコーダのパルス数計算 も各々の値をパラメータ設定するだけで、CPUが自動 的に処理します。

#### オンライン制御も可能。

このシリーズにはシリアル通信機能付きでオンライン制 御にも対応可能なOP-12、サーボモータ用コントローラと してパルス列出力機能を追加したOP-11Sがあります。

00 440

00.40

## **■OP-11シリーズ** ▶ の主な仕様

- ●OP-11 OP-12
- OP-11S

機種名	OP-11 OP-12 OP-11S						
カウント範囲	+999999~-99999						
カウント表示	7セグメントLED 文字高15mm						
最小読み取り値	測±	長0.0001~1mm/角度1、1	0分				
カウント応答周波数	10kHz/3k	Hz 切替	パルス発生器時のみ				
エンコーダ入力信号	A相、B相、Z相(1kΩ	にて12Vプルアップ)	パルス発生器時のみ				
エンコーダ供給電源		12V 100mA					
制御出力信号	耐圧30V以下 シンオープンコレクタ出力最	ンク電流50mA以下 大残留電圧1.2V以下	サーボアンプ接続 ラインドライバ26LS相当				
制御入力信号	無電圧接点"閉" またはオープンコレクタの"ON"の入力						
電源	AC100~240V±10% 消費電力20W以下						
質 量	800g						
使用温度範囲	0~45℃						
保存温度範囲	<b>−</b> 20~75°C						
バックアップメモリ	不揮発性メモリによるバックアップ約10年間						
耐振動	49m/s²(5G)で30分						
耐衝撃	耐久294m/s²(30G) X·Y·Z各方向3回						
その他	ー シリアル通信機能付 パルス列出力機						
オプション(P83参照) CK-5 CK-3/5 CK-5/6							

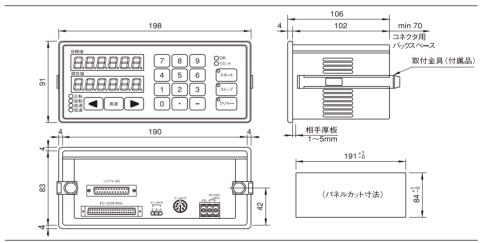
Г

## **■OP-11シリーズ** ▶ 外形寸法図

シリアルインターフェイ スはOP-12のみ装備

- ●OP-11
- ●OP-12
- OP-11S

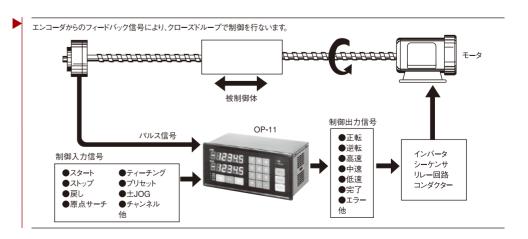




#### ■構成例

●OP-11

OP-12 **OP-11S** 



## ■ファンクション データの設定

機械のスムーズな運 転と精度を維持する ため、さまざまなファン クション機能が装備さ れています。

●OP-11 ●OP-12

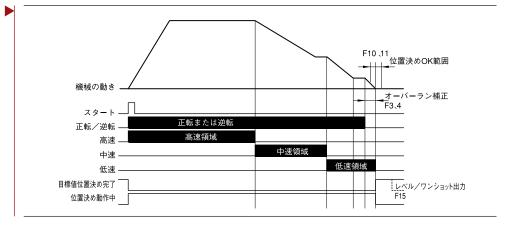
OP-11S

FUN No.	機能	内 容		
1	プリセット値	カウンタの現在値を設定します。		
2	戻し位置設定	外部信号「戻し(B3)」のONで、この設定値に戻ります。		
3/4	正/逆転方向	正転/逆転方向それぞれについて、モータに対して停止信号を出してからモータが完全に止まる		
		までの距離が登録されます。		
5	Uターン距離指定	機械のバックラッシュを取る方向でつねに位置決めさせる場合のUターン距離を指定します。		
6	減速距離	低速位置決めの減速走行領域を指定します。		
7	歯幅補正量	ノコギリ等のアサリ幅を指定します。		
8/9	正/逆転方向リミット値	安全のためのソフトリミット値の設定、またはポイント出力の用途別に選択ができます。		
10/11	土方向位置決めOK範囲	位置決め精度に士の幅を持たせる場合に指定。機械が停止した結果がこの設定範囲から外		
		れた場合、リトライ動作になります。		
12	1.位置決め方式 2.出	力用途切替 3.応答周波数10kHz/3kHzの選択		
13	原点位置設定	任意の位置を原点として登録できます。		
14	1.まるめ表示 2.停止確認の有無 3.減速乗数			
15	1.現在値修正条件 2	小数点位置 3.完了/エラー出力条件		
16	リード値設定	送りネジのピッチを設定します。		
17	エンコーダパルス数設定	取り付けるエンコーダのパルス数を設定します。		
18	中速距離	中速走行領域を指定します。		
32	プルバック距離設定	プルバック信号をONにすると設定した距離だけ機械が移動し、OFFになった時点でもとの位置に戻ります。		
33	乗数演算設定値	尺/mmやインチ/mm等の単位を切り換えたい場合に使用します。		

# ■ファンクション 機能および タイムチャート

●OP-11 ●OP-12

OP-11S

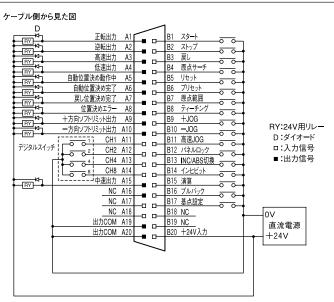


# ■外部入出力 接続図

●OP-11

●OP-12

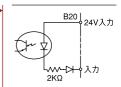
OP-11S



※カウンタを複数利用時、入力信号は「渡り配線」で接続できます。 ※オプションケーブルCK-5をご利用ください。

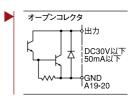
# ■入力回路

- ●OP-11
- OP-12 OP-11S



# ■出力回路

●OP-11 ●OP-12 ●OP-11S



# ■エンコーダ用 コネクタ

●OP-11 OP-12 OP-11S



ピンNo.	信号名
1	B相
2	Z相
5	A相
6	+12V
7	0V
8	シールド

# ■制御出力信号 ▶

- ●OP-11 ●OP-12
- ●OP-11S

ピンNo.	信号名	内 容
A1•A2	正/逆転出力	機械の原点位置から正転/逆転方向へのモータ制御指令。
A3•A4	高/低速出力	モータ制御にインバータを利用した場合の高速/低速回転指令。
A5	位置決め動作中	自動位置決めを行っている間ONになります。
<b>A</b> 6	目標値位置決め完了	自動位置決め時に正常に目標値に位置決めされたときONになります。
A7	戻し位置決め完了	F2で設定した戻し位置に対して正常に位置決めされたときONになります。
A8	位置決めエラー	1.動作異常 2.リトライエラー 3.極性異常 4.ソフトリミットオーバー5.停電検出
A9•A10	ソフトリミット/ポイント出力	士のソフトリミットまたはポイント出力としても使えます。
A11~A14	CH1~8	テンキーにより入力された目標値データはCH1~8に信号を入力することにより、0~15までの16種類を
		記憶することができます。
A15	中速出力	F18で設定する中速回転指令。
A19•A20	出力COM	制御出力コモン。(制御入力コモンはつながっていません)

# ■制御入力信号 ▶

- OP-11 OP-12 OP-11S

ピンNo.	信号名	内 容
B1	スタート	設定された目標値に対して位置決めを開始します。
B2	ストップ	自動位置決めを中断します。この信号がONの間、手動/自動とも正/逆転出力は出力されません。(レ
		ベル入力時インターロック機能)
B3	戻し	機械をF2に設定されている位置に戻します。
B4	原点サーチ	この信号が入力されると自動的に機械を制御して、F13に設定されている値に現在値を修正します。
B5	リセット	現在値を"0"リセットします。
B6	プリセット	現在値をF1に設定されている値に修正します。
B7	原点範囲	原点サーチのときの原点位置を検出するセンサーの入力。
B8	ティーチング	現在値を目標値に置き換えます。
B9•B10	±JOG	正転出力/逆転出力と低速出力がONになります。
B11	高 速	土JOGと同時に押せば低速出力がOFFになり、高速出力がONになります。
B12	パネルロック	この信号がONの間、パネルスイッチを全てロックすることができます。
B13	INC/ABS切換	基本条件がインクリメンタルの場合、INC/ABS切換信号がONのとき、アブソリュートで位置決めを
		行います。
B14	インヒビット	ONの間、カウント動作を禁止します。
B15	演算	尺/mmやインチ/mm等の単位切換えができます。
B16	プルバック	ONにすると設定した距離だけ移動し、OFFで元の位置に戻ります。
B17	基点設定	この信号がONのとき基点設定を行います。
B20	+24V入力	この端子にDC十24Vを接続してください。

<sup>※</sup>制御信号はOP-12、OP-11Sと共通です。

# ■通信の 一般仕様

OP-11 ●OP-12

OP-11S

通信方式	半2重通信方式、但し通信回線は全2重接続(4線式)(RS485)
同期方式	調歩同期方式
伝送コード	ASCIIの7ビット
誤り検出	垂直パリティは偶数、BCCも偶数(EVEN)
ストップビット	1ビット
転送速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400bps
ユニット番号	00~32

## 例) D5:目標値データの書込と位置決め開始

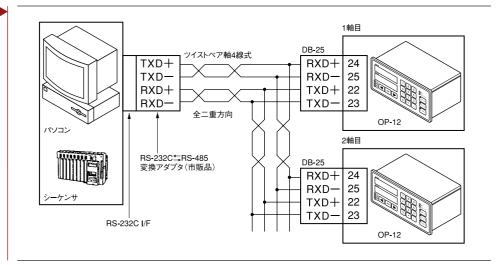
STX	X	X	D	5	X	X	X	X	X	X	X	X	ETX	CR
	<b>← ユニ</b> ゥ	/トNo. →	< 命令	コード >	<b>~</b>		— デ-	-タ —		$\longrightarrow$	← во	CC →		

※目標値データの送信と同時に位置決め動作を行なわせたい時に利用します。

# ■通信システム 構成

(複数軸制御の場合)

OP-11 ●OP-12 OP-11S



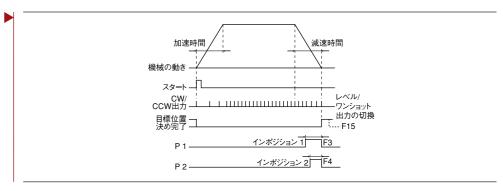
# ■ファンクション 機能

- OP-11
- OP-12
- **OP-11S**

FUN No.	機能
16	サーボモータ1回転の移動距離
17	モータ1回転に必要なパルス数
18	最大発振周波数(100pps~400kpps)
19	最低発振周波数(100pps~19,999kpps)
20	加減速時間(10~9999ms)

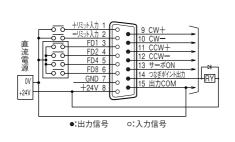
# ■タイムチャート

- OP-11
- OP-12
- **OP-11S**

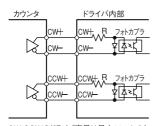


# ■CW/CCW信号

- OP-11
- **OP-12**
- OP-11S



※オプションケーブルCK-6をご利用ください。



ケーブルから見た図

CW/CCWのドライブ容量は最大30mAです。